

コロナ禍による若者の意識変化 に係る調査報告



株式会社 エックス都市研究所

EX Research Institute Ltd.

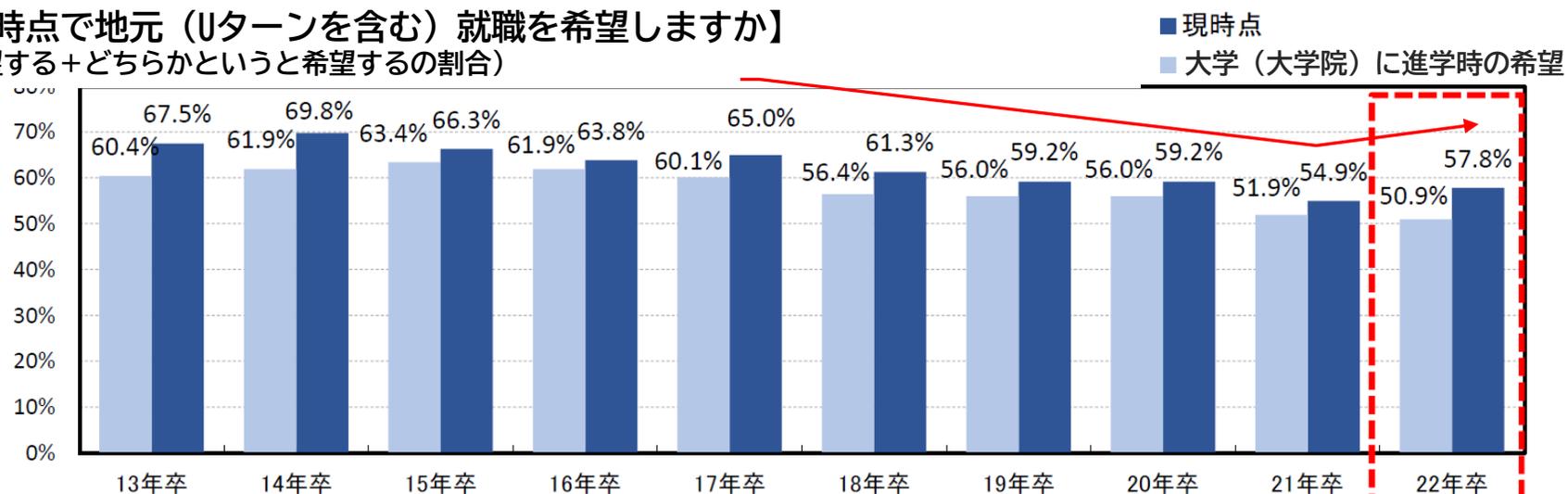
Environmental and Regional Planning, Research and Consulting

1. 地元（Uターンを含む）就職への希望

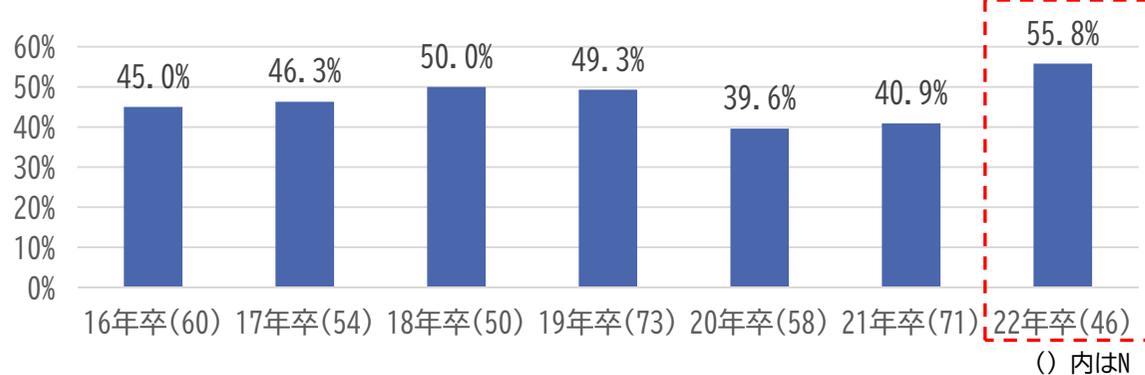
○地元就職を希望する大学生は17年卒調査以降ゆるやかに減少していたが、22年卒予定者では57.8%が地元就職を希望していると回答し、希望者の割合が増加している。

○青森県内の高校卒業者についてみると、16年卒から21年卒までは40～50%であったが、22年卒では55.8%に増加しており、特にコロナ禍において、地元就職を希望する大学生が増加していることがうかがえる。

【現時点で地元（Uターンを含む）就職を希望しますか】
 （希望する+どちらかという希望するの割合）



【青森県内の高校卒業者の回答：現時点】

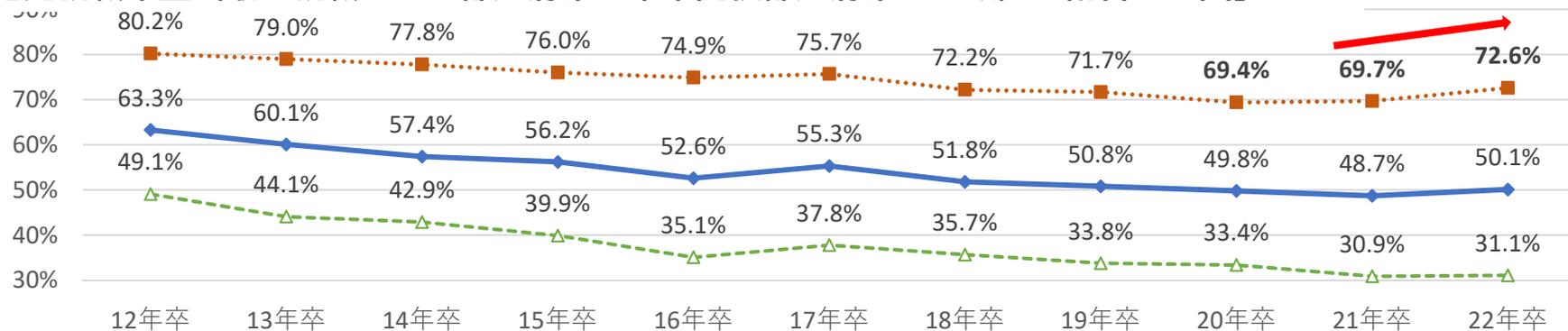


2. 地元就職希望（最も就職したい都道府県が卒業高校都道府県である割合）

○地元就職希望の割合をみると、12年卒から減少傾向ではあるものの、概ね半数（5割）が地元就職を希望している。地元進学においては7割程度と高く、12年卒からの減少傾向が21年卒から22年卒にかけて2.9ポイント増加している。

○青森県内の高校卒業者では、地元就職希望割合は全国より低い割合で推移しているが、地元進学においては21年卒から22年卒にかけて、16.3ポイントの増加となっている。

【地元就職希望（最も就職したい都道府県が卒業高校都道府県に一致）の割合：全国】



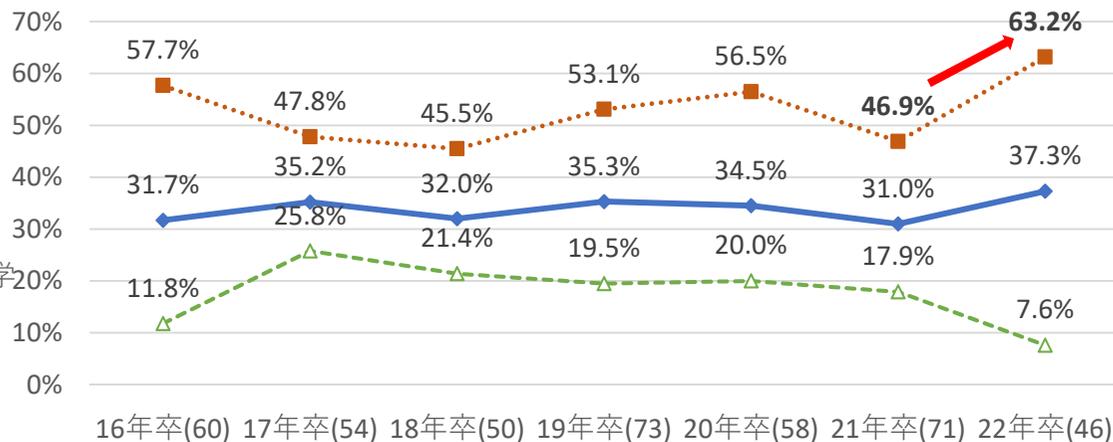
【青森県内の高校卒業業者の回答】

地元進学：
現在の学校所在都道府県が卒業高校都道府県に一致

地元外進学：
現在の学校所在都道府県が卒業高校都道府県に不一致



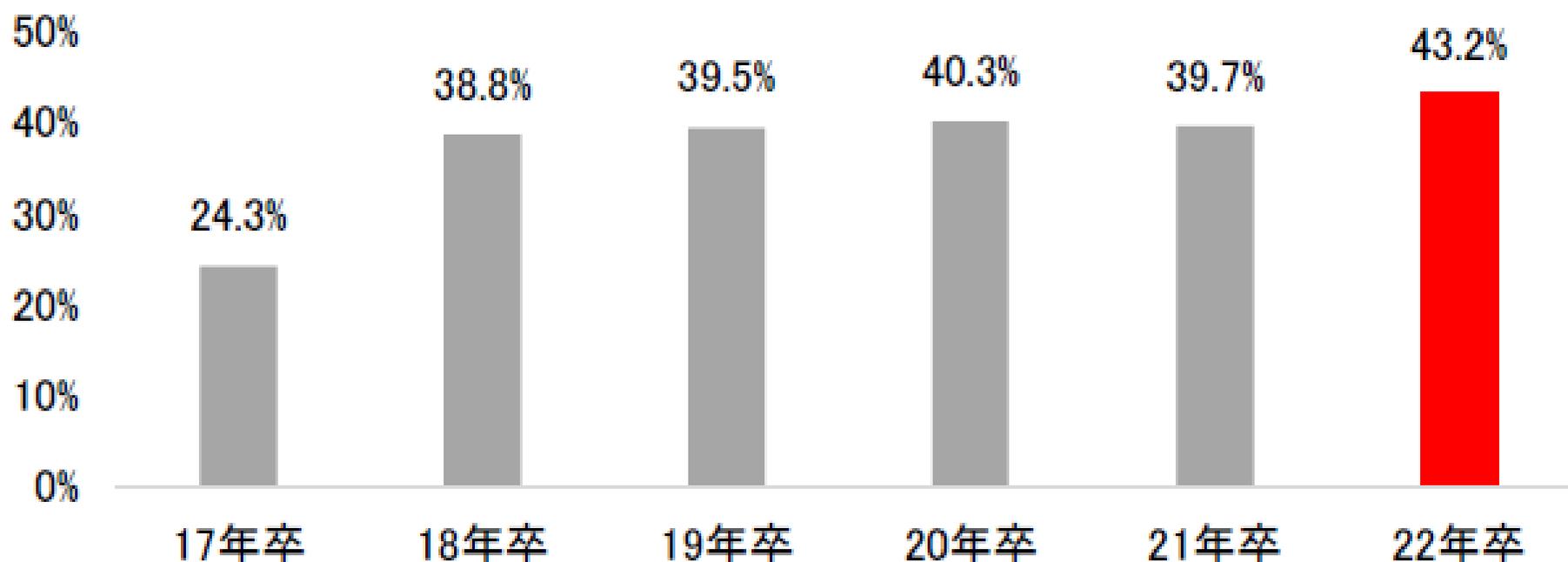
() 内はN数



3. 地元以外の自然が豊かな地方での就職希望

○Iターン就職のように地元以外の自然が豊かな地方で働いてみたいと思うかを聞いたところ、21年卒までが概ね40%であるのに対し、22年卒では43.2%の大学生が「自然が豊かな地方で働いてみたい」と回答し、増加がみられる。

【Iターン就職のように地元以外の自然が豊かな地方で働いてみたいと思いますか。：全国】



4. 働く場所が自由になった際の勤務先・居住地の理想

○働く場所が自由になった際の理想として「東京に住みたい」という大学生は22年卒で12.7%となり21年卒から2.4ポイントの減少、「地方に住みたい」は57.0%で21年卒から2.2ポイントの増加となっている。

【働く場所が自由になった際に、勤務先・居住地の理想として当てはまるもの：全国】

